

“一人ひとりの働きたい”をかなえる「働き方改革」推進事業

実績額 16,477千円（うち交付金8,239千円）

1 事業の目的・概要

千葉で働くすべての人が、意欲と能力を生かし、安心していきいきと働きつづけることができる職場環境の整備を図るため、セミナー等を通じて、「働き方改革」についての意識啓発を図るとともに、働き方改革アドバイザーを派遣するなど企業の取組に対する支援を実施した。

2 事業の内容

(1) 働き方改革アドバイザーの派遣

働き方改革への取組を希望する企業に対し、社会保険労務士、中小企業診断士等の専門家を働き方改革アドバイザーとして派遣した。

また、前年度の派遣企業へのフォローアップ派遣や、アドバイザーの出張による地域相談会を開催した。

〈H30年度実績〉

- ・働き方改革アドバイザーの企業への派遣：22社（86回）
- ・フォローアップ派遣：9社（20回）
- ・地域相談会：5回（13社）

(2) 普及啓発セミナー

働き方改革への意識の醸成を図るため、セミナーやシンポジウムを開催した。

開催日	名称	参加者
8月20日、27日	企業向け働き方改革セミナー	85名
11月1日	ちば「働き方改革」公労使シンポジウム	175名
3月18日	ワーク・ライフ・バランスセミナー	50名

(3) 好事例集の作成・配布

働き方改革に取り組んだ企業の成果等をまとめた好事例集の作成・配付を行った。(2,000部)

事業名	“一人ひとりの働きたい”をかなえる「働き方改革」推進事業	
担当課	商工労働部雇用労働課	
総合戦略記載箇所	大項目：(1) “一人ひとりの働きたい”がかなう千葉づくり 中項目：⑤中小企業の活性化支援	
【本事業における重要業績評価指標（KPI）】		
指標名	実績値	目標値
「働き方改革」アドバイザーを活用して働き方改革に取り組んだ企業数	22社	20社
地域相談会実施回数	5回	2回
【事業効果の判定】		
①地方創生に非常に効果的であった (例: 全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合) ②地方創生に相当程度効果があった (例: 一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合) ③地方創生に効果があった (例: KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合) ④地方創生に対して効果がなかった (例: KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合)		
【要因・課題】（取組推進に当たっての問題点、問題点を踏まえた目標達成に必要な課題）		
<ul style="list-style-type: none"> ・今後も人口減少と少子高齢化が進むと見込まれる中、働き方改革を進め、誰もが活躍できるよう労働環境を整備し、労働力を確保することの重要性を、特に中小企業に認知していただく必要がある。 		
【改善策・取組方針】（要因・課題を踏まえた具体的な取り組み（令和元年度に向けた取組の修正・改善））		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、セミナー等により働き方改革の機運醸成を図るとともに、働き方改革への取組を希望する県内中小企業等にアドバイザーを派遣し、課題解決を支援する。 ・平成30年度にアドバイザーを派遣した企業へのフォローアップを実施するほか、好事例集を広く普及させ働き方改革の取組の浸透を図る。 ・柔軟な働き方の実現のため、新たにテレワークの導入支援を実施する。 		